

令和 6 年 9 月市議会定例会

農林水産部

議案説明資料

目 次

【予算案件】

1	令和 6 年 9 月農林水産部補正予算（案）総括表	1 頁
2	農業用電気料金高騰緊急支援事業について	2 頁
3	園芸産地における事業継続強化対策事業について	3 頁
4	農地利用効率化等支援交付金事業について（被災農業者支援タイプ）	4 頁
5	野生動物自動検出 A I 活用事業について	5 頁
6	小規模土地改良事業補助金について	6 頁
7	特例的収入及び支出について 【農業集落排水事業会計】	7 頁
8	林道施設災害復旧事業について	8 頁

1 令和6年9月農林水産部補正予算（案）総括表

【一般会計】

農業委員会を除く

（単位：千円）

区分 予算科目(款・項)	補正前の額	今回補正額	補正後の額	備考
農 林 水 産 部 合 計	10,040,179	51,482	10,091,661	
(款6) 農林水産業費	5,805,359	43,982	5,849,341	
(項1) 農業費	2,425,734	10,582	2,436,316	農業振興対策事業費 7,802 園芸振興対策事業費 1,449 経営体育成支援事業費 1,331
(項2) 農地費	2,321,125	3,400	2,324,525	小規模土地改良事業費補助金 3,400
(項3) 林業費	748,422	30,000	778,422	鳥獣対策費 30,000
(款11) 災害復旧費	4,234,820	7,500	4,242,320	
(項1) 農林水産施設 災害復旧費	4,234,820	7,500	4,242,320	林道災害復旧事業費 7,500

【農業集落排水事業会計】

（単位：千円）

区分 予算科目(款・項)	補正前の額	今回補正額	補正後の額	備考
特例的収入	49,182	2,134	51,316	
特例的支出	49,142	△ 1,636	47,506	

【農業振興対策事業費】

2 農業用電気料金高騰緊急支援事業について

[農業水産課]

(1) 補正額 7, 8 0 2 千円

財源内訳	県支出金	5, 4 5 4 千円
	一般財源	2, 3 4 8 千円

(2) 事業目的

令和 5 年度からの県単事業継続実施に伴い、J A や大規模生産者等が運営する農業用施設における電気料金高騰の影響を軽減するため、負担増加額を支援する。

(3) 事業内容

ア 農業用電気料金高騰緊急支援事業補助金

① J A 等の共同利用施設

カントリーエレベーター、ライスセンター、大豆乾燥調製施設、園芸作物の集出荷貯蔵施設等

補助率：令和 6 年 1～12 月分の電気料金の負担増加額(R4 年比)×3/8

(県 1/4 以内、市 1/8)

②大規模生産者の乾燥調製施設

水稻作付面積がおおむね 20ha (中山間地域では 16ha) 以上の大規模生産者が運営する乾燥調製施設等

補助率：令和 6 年 8～11 月分の電気料金の負担増加額(R4 年比)×1/4

(県 1/4 以内)

③中規模生産者の乾燥調製施設

水稻作付面積がおおむね 10～20ha (中山間地域では 8～16ha) の県単の対象とならない生産者が運営する乾燥調製施設等

補助率：令和 6 年 8～11 月分の電気料金の負担増加額(R4 年比)×1/4

(市 1/4 以内)

イ 推進事務費

県単事業に係る補助金の交付に必要な消耗品、郵便料等の事務費

【園芸振興対策事業費】

3 園芸産地における事業継続強化対策事業について

[農業水産課]

(1) 補正額 1, 4 4 9 千円

{	財源内訳	県支出金	1, 4 4 9 千円

(2) 事業目的

国の追加内示に伴い、園芸産地が災害被害防止対策を行う取組みに対して支援する。

(3) 事業内容

園芸産地である山田地域の1組織において、災害に備えて花き栽培ハウスの周囲に防風ネットを設置する経費に対し、補助金を交付する。
補助率：1/2（国 1/2）



防風ネット 設置例

【経営体育成支援事業費】

4 農地利用効率化等支援交付金事業について

(被災農業者支援タイプ)

[農業水産課]

(1) 補正額 1, 3 3 1 千円

財源内訳	県支出金	1, 1 4 1 千円
	一般財源	1 9 0 千円

(2) 事業目的

令和6年能登半島地震により被災した農作業用施設の復旧を支援する。

(3) 事業内容

農作業用施設(2件)を修繕する経費に対し、補助金を交付する。

補助率: 7/8 (国 1/2、県 1/4、市 1/8)



土間コンクリートのひび割れ

【鳥獣対策費】

5 野生動物自動検出 A I 活用事業について

[森林政策課]

(1) 補正額 30,000 千円

財源内訳	一般財源	30,000 千円

(2) 事業目的

正確にクマを判別できる A I カメラと防災行政無線とを連動させることにより、市民への周知やクマの出没に対する初動の迅速化を図る。

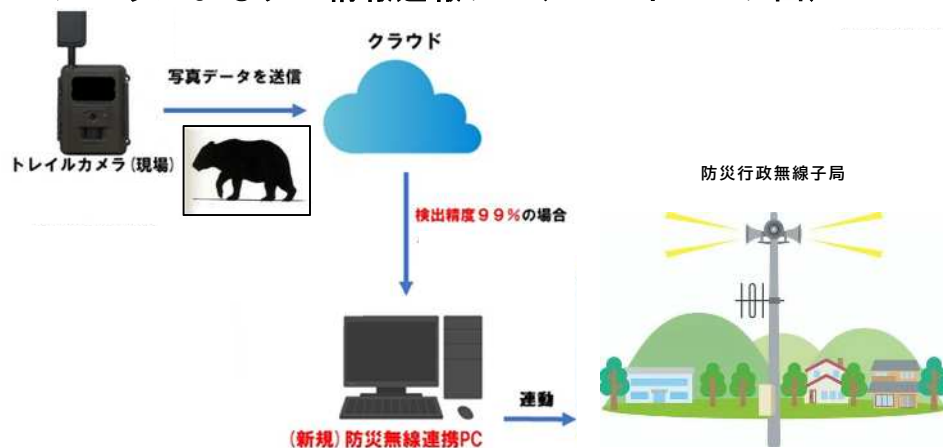
(3) 事業内容

A I カメラによるクマの出没情報をもとに、防災行政無線の自動放送を行うためのシステムを開発し、モデル地域での実証実験を行う。

(事業スケジュール)

年度・月	R6						R7						
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月～
AIカメラ・ 防災行政無線 連携システム 設置業務	システム開発						設置・ 接続	(モデル地域) 実証実験					運用開始

(A I カメラによるクマ情報通報システム イメージ図)



【小規模土地改良事業費補助金】

6 小規模土地改良事業補助金について

[農村整備課]

(1) 補正額 3, 4 0 0 千円

財源内訳	市債	2, 5 0 0 千円
	一般財源	9 0 0 千円

(2) 事業目的

県の追加内示に伴い、経年劣化により故障した土地改良区が管理する施設について、早急に復旧を図る。

(3) 事業内容

県単独農業農村整備事業

揚水ポンプ更新 2 基（茶屋町地内）

（県 40%、市 40%、地元 20%）

※県の補助金は直接土地改良区に支払われる。

○射水平野土地改良区（揚水ポンプ）



【農業集落排水事業会計】

7 特例的収入及び支出について

[農村整備課]

(1) 補正額	特例的収入	2, 1 3 4 千円
	特例的支出	▲ 1, 6 3 6 千円

(2) 補正の目的

地方公営企業法の適用に伴い、旧特別会計の出納は令和 6 年 3 月 31 日で閉鎖され、令和 5 年度以前に発生した債権・債務にかかる未収金・未払金は、令和 6 年度の債権・債務として整理するものとされたことから、見込額を令和 6 年度当初予算に、それぞれ特例的収入・特例的支出（第 4 条の 2）として計上していた。

この未収金・未払金の金額の確定に伴い、特例的収入・特例的支出を補正する。

(3) 補正の内容

(単位：千円)

区分	補正前の額	今回補正額	補正後の額
特例的収入	4 9, 1 8 2	2, 1 3 4	5 1, 3 1 6
特例的支出	4 9, 1 4 2	▲ 1, 6 3 6	4 7, 5 0 6

【林道災害復旧事業費】

8 林道施設災害復旧事業について

[農地林務課]

(1) 補正額 7, 5 0 0 千円

財源内訳	市債	4, 8 0 0 千円
	一般財源	2, 7 0 0 千円

(2) 事業目的

令和6年能登半島地震により被災した林道八尾牛岳線の復旧を図る。

(3) 事業内容

地震で発生した地すべりにより路面沈下した林道について、測量設計業務を実施する。

なお、地すべり対策については、県が国の採択を受け、今年度内に緊急対策を行うこととなり、これに伴い林道被災箇所の測量設計業務についても今年度内に行うことが可能となったもの。



林道八尾牛岳線の被災状況